



井上道義の 未来だった今より

♪人と人 国と国

クラシック音楽を好む人口は少ない。コカコーラと違って、誰にでも分かりやすく、腐らず長持ちし安いもの、ではないから。オペラやバレエであろうと、演劇であろうと、「商業～～」とつかないものは、どこか分かりにくい内容を伴う。分かってくれる人がいれば良いという姿勢が送り手側にあるのかもしれない。そうは言っても作者や演者も、若さや美貌、性的な魅力とか人を引き付けるアピールを發揮できる人はそれを利用する。モーツアルトだってそれを利用できなくなった25歳あたりから生活がきつくなつたのだ。

テレビは最近でこそインターネットに主導権を奪われつつあるが、いまだにメディアの中心なのだろう。そこに身をさらす「アーティスト」は集客能力がずば抜けて高い。歴史ある老舗や行列のできるラーメン屋などと同じで、皆が行くから行く、何か特別なものがありそうと思

わせる何かにひきつけられる人の心理だろう。見る人も聞く人もきっとそうと知りながら、それらを話題にし、一度は確かめに行ってみる。では2度目からなら自分の価値観で決めるだろうか? ぶれない価値観なんてなかなか確立できるものではない。だからどうしてもテレビメディアなどの偏った情報に流される。今の中国や韓国と日本の軋轢などはその辺の心理が表層雪崩を起こす危険がある。

ユンディ・リという中国の名ピアニストが来日を中止した。東日本大震災の時に来日から逃げたオーケストラの音楽監督もいたが、このような時にこそ音楽が人の心を結ぶのに、そのような行動は音楽そのものの意味さえ軽くする。もちろんそうでない人もいるが、ニュースは悪いニュースの方が強いものなのだ。

(オーケストラ・アンサンブル)
金沢音楽監督

新局長(58)が会見し、「北陸にある耕地の9割が水田。農家のみなさんと一緒に意見交換をしながら、特色ある農村づくりができるよう取り組みたい」と、米づくりの生産基盤強化に力を入れる考えを示した。そのほかの重点課題として、「(1)次産業を加工、流通販売へと広げる」6次産業化の推進」「食の安心安全」を挙げた。管内で老朽化した水路網の改修工事に合わせて小水力発電の導入を進める方針も明らかにした。着任は11日付。

1979

「意見交換して
米作基盤強化」

斎藤・新農政局長が会見

北陸農政局の斎藤政満・

年、農林水産省に入省。2009年1月から農村振興局整備部長を務めた。



通信講座の受講者募集



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・文教文化塾

通信講座の受講者を募集中です。作品提出は月1回、受講料は6ヶ月、教材費込み。
◇文章教室 元朝日新聞記者の講師陣が800字の作品を添削。監修は「天声人語」元筆者の栗田昌氏。2万5千円。
◇文芸創作のためのトレーニング 文章の表現力と想像力を磨く。2万5千円。
◇エッセイ教室7クラークス 作家や記者の指導で、読み手の感性に響く作品をめざす。2万千円ほか。
◇はじめての俳句 課題に沿って句を作り基礎力を養う。1万9900円。

習得。1万9900円。
◇水墨画のはがき絵添削を通して学ぶ。2万2千円。
◇総合書道／自由研究書道 入門から上級レベルまで。1万7400円ほか。
◇漢文／哲学／世界史／古文書／聖書／株式／小説創作／童話／自分史／川柳文／現代詩／漢詩／英文翻訳／英語俳句／英作文／写真など約40講座。
資料請求先 03・3334・215277
曜・祝日は休み。〒163・02278 新宿住友ビル私書箱21号 朝日カルチャーセンターホームページ http://www.asahiculture.com/gushin

第2回朝日小中学生 復興新聞コンクール 復興への思い・支援・交流

朝日新聞社は「第2回朝日小中学生復興新聞コンクール」の作品を募集しています。「ニッポン前へ委員会」、朝日学生新聞社との共催です。

東日本大震災からの復興への思いや、子どもたち自身の支援活動、被災地との交流などに触れた記事が掲載された今年4月以降の学校・学級新聞などが対象です。

応募作から、小学校低学年、高学年、中学校の3部門ごとに文部科学大臣賞などの優秀作を選び、来年3月に東京で表彰式をします。

詳しい募集要項はコンクール専用ウェブサイト (<http://www.asahi.com/shimbun/fukko.html>) で。問い合わせは、電話 (03・5540・7630=平日の午前10時から午後6時) か、メール (fukko@asahi.com) で。応募締め切りは2013年1月15日 (消印有効)。

に「大丈夫。絶対できる」と声に出して自分に言い聞かせたり、飛び込む前に一歩を見つめて集中力を高め

